

前、自宅の玄関先で転倒、しばらく入院生活をおくられた。足腰が弱り立つ事もままならなくなつた状態から、冬の寒い中、自宅の廊下を歩行器や杖を使って行き来するリハビリの成果で、要介護2まで回復された。

『寝たきり』にならなかつたのは本人の政界・財界で培つた負けず嫌いの不屈の精神もあつたが、これが大きな影響をもたらした。電動四輪車に出合つたこ

権一さんは十年ほど前、自宅の玄関先で転倒、しばらく入院生活をおくられた。足腰が弱り立つ事もままならなくなつた状態から、冬の寒い中、自宅の廊下を歩行器や杖を使って行き来するリハビリの成果で、要介護2まで回復された。

電動四輪車が介護保険を使ってレンタルできることを知ったのは数年前、権一さん自身から担当のケアマネージャーさんに照会があつた。

最初の頃は運転している横でヘルパーさんに同行してもらっていた。「ヘルパーさんはご迷惑をお掛けしました。自分はスピードを出して行く。ちょうど隙を見てはドライブに飛び出していく隙に居なくなつてしまふのは、まるで、いたずらっ子がトントン取りに出掛けるよう」。

会つてからは、気分的にも明るくなつて、持ち前の人に好きも手伝い、午前の部・午後の部に分けて出掛けるのを日課にしている。勿論、雨の日も風の日もほとんど休みなし。体がうずうずして、家人が「今日は午後からも雪が融けたらすぐに出掛けられると、乗る機会が少なくて、『マイカー』が身近になると何か気分がよくない。そして、待ち遠しい春に備え、玄関に出てはマイカーを眺めたり、手入れをしているのだそうだ。

### 毎日、ドライブ

### 電動四輪車でいきいき



友達の家へ遊びに来ました

## 赤いのが走つてたら！ それは権一さん



出発！

赤い旗をつけて、いざ、出発！

「やりたいこと」が身体を動かす

### お気に入りのマイカー

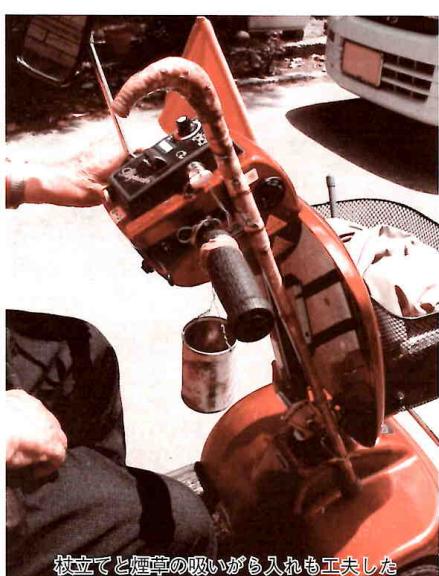
権一さんは、「これはス

ピードが出ないから気にいらねえ」と笑いながら、嘘を言う。毎日、雨が降ろうが槍が降ろうが飛び出しつ經常にはずぶ濡れになつて帰つてくることもある。冬場でも雪が融けたらすぐに出掛けられるよう玄関に停めておこう。乗る機会が少なくて、『マイカー』が身近になると何か気分がよくない。そして、待ち遠しい春に備え、玄関に出てはマイカーを眺めたり、手入れをしているのだそうだ。

目に取つたという権一さんは自動車に慣れているため、電動四輪車のスピードでは物足りないと言われるが、周りの景色を楽しんだり、畠仕事中の人に声をかけたり、立ち止まつて話をするだけでは味わえない楽しみもある。

事故から身を守る工夫にも手を抜かない。赤い車体に赤い座席カバーを取り付け、ご自身も赤いシャツや赤いジャケットに赤い帽子で出掛けれる権一さんは、乗り始めたときから「真っ赤な旗を立てたい」という希望があつた。一度は反対されましたが、空き缶と針金で、乗り降りする時の杖立てを作るなど工夫はまだ続く。煙草を吸うので、お茶の缶に針金を通してハンドルに括り付け灰皿も備えつけた。

「昔からやりたいことを一生懸命やつてきた。今もやりたいことをやってみたいだけだ。」と、笑つて締め括つた後、庭に咲く花を電動四輪車に乗つてひとしきり眺め、また日課のドライブに出掛けられたのだった。



杖立てと煙草の吸いがら入れも工夫した

### 自己主張と 交通安全の両立

免許などが要らないため、需要も多く手軽に扱えるが、その分、人への追突や車との接触に十分に気をつけねばならない。

車の免許を聖籠町で二番

## 新たに生活が始まるときに

リハビリによって目標が達成される段階になると、当院では「退院前訪問」というものを行います。訪問時には、患者様が外出できるならば一緒に

行っていただき、我々スタッフと担当のケアマネージャー、もし住宅改修が必要な場合は建築の方も同席していただけるように要請します。



リハビリテーションセンター治療室

## 第一線をゆく



大竹 朗氏 (48歳・理学療法士)  
上越地域医療センター病院リハビリテーションセンター室長にリハビリと在宅生活について前号にひきつづき伺いました。

## リハビリで新たに生活を

理学療法士にインタビューして――

そこでは実際に患者様に試してもらつて、「これならできるでしょ」「ここまでなら何とかなるかな」ということを体験していただき、動作の方法や手すりの位置や踏み台の高さ等をアドバイスします。ケアマネージャーには介護保険による住宅改修や福祉用具の利用の具体的な説明、建築の方からは大まかな費用や実際に住宅改修が可能かについて提案してもらうことがあります。そういうたたちで在宅生活の準

月が経過するともちろん慣れてきますし、暮らしの中の動作が楽になってしまいます。そうしたら次の「こうしたい」という希望がでてくるわけです。その時点でもう一度関わつていくという、段階的ア

プローチが必要ではないかなと思います。

### にんじんのサラダ



1人前  
96Kcal  
約50円

#### ●材料 (四人分)

にんじん 四本

チーズ 五〇g

フレンチドレッシング

大さじ三

八枚

サニーレタス

八枚

#### ●作り方

①にんじんは三ミリ厚さのいちょう切りにし、熱湯で柔らかくゆでる。

②①をざるにとつて手早く湯を切り、熱いうちに

●食べた方の感想

にんじんとチーズの取り合せが良かつた。味が薄いという感想もありました。

事でもあるわけです。それを自分自身がこなしていくのもQOL (Quality of Life...生活の質) 向上にどうしても通院できな

い方がいらっしゃいました。そういうことを考えると訪問リハビリ事業は必要だと思っておりました。

## 訪問リハビリテーションの取り組み

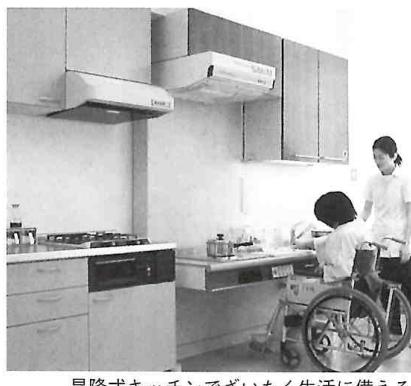
今まで病院を退院されていく患者様や外来通院の患者様の中には、リハビリ治療の必要があるのにどうしても通院できない

い方がいらっしゃいました。そういうことを考えると訪問リハビリ事業は必要だと思っておりました。

在宅へ帰ったら、自分でなければできないといふです。これは難しいこ

となのかかもしれませんのが大事であり、先程もふれましたが入院生活が

長くなればなるほど家庭における自身の役割といふものがどんどん減つてくるわけであるうちに退院し、その生活に合わせていくということが社会復帰の第一歩であり、大事なことだと思います。またその役割を作つてあげるという



昇降式キッチンでざいたく生活に備える

い方がいらっしゃいました。そういうことを考えると訪問リハビリが行なえるようになります。現在、上越市内で訪問リハビリを行なっています。これは提供する病院、施設側にマンパワーがないことが原因ではないかと思います。当院もスタッフ数に限りがあるので、段階を踏んで広げていくようななたたちを考えています。現

ドレッシングで和えてさめるまでおく。

③チーズは五ミリ角に切る。

④皿にサニーレタスを敷いて②を盛り、上にチーズを散らして完成。

状では当院に入院され、介護保険の認定を受けられて、一定間隔で通院してリハビリを行うのが困難な方を対象とさせていただいています。

の先生方からの介護保険に関する意見書をいた  
だいた時点で関わってい  
けるようななかたちを考え  
ています。それにはやは  
りマンパワーが必要にな  
るので、半年、一年とい

うかたちで段階的に広げていれば良いと考えています。

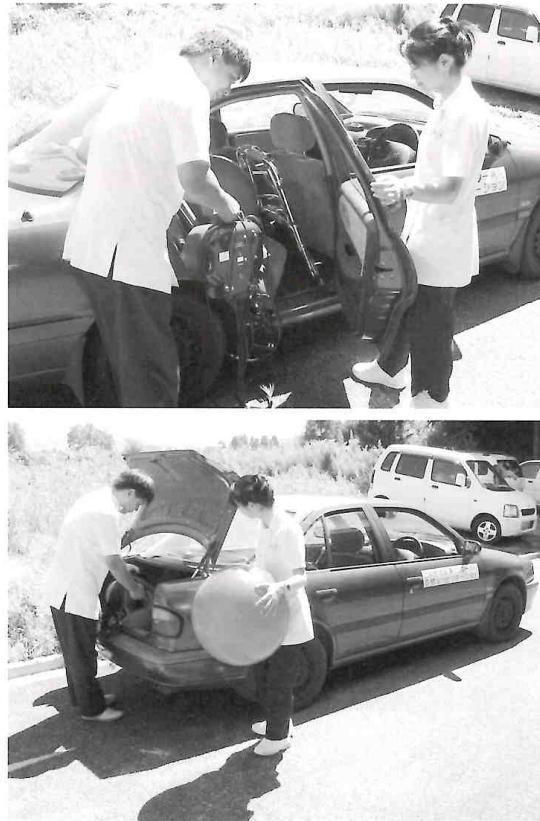
としていきたいと思つて  
おります。

んが、同じようなことが  
できる機器を揃えていま  
す。車に必要な機器を積  
んで、伺うという方法をと  
っているので、リハビリを行  
う場所が違うだけとい  
うふうに考えていただけ  
ればと思います。歩行訓  
練で杖が必要になつたら  
その車から出し、温熱療  
法が必要ならその機器を  
出せるように準備してい

きる理学療法士に

もやつてみないか」とい  
う言葉をかけられて、理  
学療法士を目指すことに  
なりました。その入院中  
に体験した「身体と心の

リハビリの体験」を忘れないでください。精神面でもサポートできる理学療法士にならないといけないという気持ちでは、そのときの経験からです。



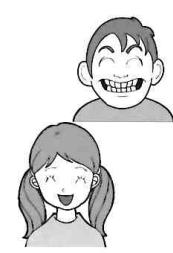
訪問リハビリに向かうスタッフ。車の中は必要な機材でいっぱいだ。

## シルバー 休憩室

好季迎えて  
「笑顔」してますか

障害者スポーツ指導員  
佐藤 浩子

あ  
い  
も



笑顔してますか？って  
変な言い方ですかね。  
「笑う門には福来る」と  
言われますが、一日に何  
回笑っているで  
しょうか？

シルバ  
休憩

て、ほつぺがキユツと上にあがつたら笑顔の出来上がり。イチニ、イチニと作り笑いの繰り返し。

言わされた方は言葉より笑顔の方が目に入るのです

An illustration showing two children from the chest up. The child on the right is a boy with dark hair, wearing a grey t-shirt, laughing heartily with his mouth wide open. The child on the left is a girl with long dark hair, wearing a grey t-shirt, also smiling broadly. They appear to be happy and laughing together.

療法士は常に人と接する仕事です。「患者様が

ことを考え行動できる人  
を望みます。

明日の療法士たちへ

どういう気持ちでそこへ

私は、高校卒業前に交通事故により約一年間近くの入院生活をしました。卒業証書も病院のベッド上で受け取りました。そのときの入院およびリハビリ体験が、職業を知ることになり、先生から「君

きる理学療法士に  
もやつてみないか」とい  
う言葉をかけられて、理  
学療法士を目指すことに  
なりました。その入院中  
に体験した「身体と心の  
私が理学療法士になつ  
明日の癌

「リハビリの体験」を忘れないでください。精神面でもサポートできる理学療法士にならないといけないという気持ちでは、そのときの経験からです。



## 治療田和室で家事の訓練由

